

講師紹介



弘中泰雅氏 (農学博士、水産学修士)

食品産業生産性向上フォーラム企画検討委員長
テクノバ株式会社代表取締役
日本生産管理学会 理事、日本穀物科学研究会理事

専門分野：2年で20%生産性向上を目標に全国の多様な食品工場の生産性向上に取り組む。「食品工場の生産性2倍」など食品工場の生産性向上に関する著書多数。

Mail:hironaka@technova.ne.jp HP:http://www.technova.ne.jp/



林芳樹氏

ものづくりテラス代表、日本生産管理学会会員

長年電機メーカーで自社工場の生産管理システム構築やしきみ改善に従事。システムエンジニアとして一般企業の経営改革、生産管理や品質管理等のシステム構築、現場改善を支援。2008年ものづくりテラス設立。以降、システム開発会社の経営改革や機械加工メーカーの生産性向上、食品製造業の生産性向上等を支援し、現在に至る。



高本治明

一般社団法人日本ロボット工業会 客員研究員

経済産業省「ロボット導入実証事業」事務局の実務責任者を3年間、「システムインテグレーション育成事業」事務局の実務責任者を1年間担当し、400件に及ぶ最新ロボット導入事例に触れる。FA・ロボットシステムインテグレーション協会事務局も担当。



児島秀介氏

株式会社田中食品興業所 生産管理課 工場管理係 係長

平成15年株式会社田中食品興業所に入社。入社以来、生産管理部門に所属し、本社、つくば両工場のルール統一、標準化、生産実績の分析と生産性向上のための改善活動、製造原価の管理等を中心に従事。またエネルギー管理士としてエネルギー使用量の管理と省エネ活動を推進。



富永誠氏

株式会社ヒロテック 技術本部 生産技術研究所 ロボティクス研究室 室長

自動車用ボディー生産設備設計・開発に25年従事。多数の国内外のプロジェクト責任者、海外赴任を経験し、15年より生産技術研究所にてロボットを活用した高度な自動化システムの研究開発や、自動車業界以外の自動化システム構築チームのロボティクス研究室 室長として現在に至る。また、ロボット Sier スキル標準やテキストの執筆、FA ロボット Sier 協会の設立にも関与。



□■□ 今後の食品産業生産性向上フォーラムの開催予定はこちらをご覧ください。

<http://robo-navi.com/foodforum/index.html>



QRコード

主催：農林水産省
後援：一般社団法人日本生産管理学会
実施：一般社団法人日本ロボット工業会 TEL：03-3434-2919 FAX：03-3578-1404
Mail：takamoto@jara.jp (担当：高本)

第7回食品産業生産性向上フォーラム

in 広島

プログラム・プレゼンテーションガイド

開催日時：

2018年(平成30年)10月1日(月)

13:00～18:00(開場12:30)

開催場所：

RCC文化センター(701,702)

開催趣旨

昨今、食品製造業の人手不足・人材不足の問題が深刻化しており、生産性の向上が急務となっています。しかしながら、どのように生産性を向上させ、またそのための課題にどのように取り組むかを各企業が独力で見つけ出すのは非常に難しい状況です。そこで、農林水産省では、食品製造業の生産性の向上に関する専門家の講演、実際に生産性向上に取り組む現場の事例紹介、生産性向上を目指す支援業者(メーカー等)のプレゼンテーション、講演者や支援業者との交流等を内容としたフォーラムを開催致します。

プログラム

13:00-13:10 開催主旨説明

農林水産省食料産業局食品製造課

13:10-14:30 基調講演

「食品製造業の生産性低迷の原因と打開策」

弘中泰雅氏(食品産業生産性向上フォーラム企画検討委員長)

「食品製造業の組織向上力を考える」

林芳樹氏(ものづくりテラス代表)

「食品産業における機械化・ロボット化の現状とポイント」

高本治明(一般社団法人日本ロボット工業会)

14:30-15:10 生産性向上に向けた先進事例紹介

株式会社田中食品興業所、株式会社ヒロテック

15:10-15:20 農林水産省よりお知らせ

15:20-15:30 経済産業省よりお知らせ

15:30-17:30 生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション及び交流会

(工程改善、意識改革、IT活用、機械化自動化等による食品製造業生産性向上を支援する事業者によるプレゼンテーション)

エムジェイ・エムジー、オムロン、オフィスエフエイ・コム、広和機工、CKD、シナプスイノベーション、スズキ麵工、ニチフ電機、農研機構、パインス、三菱電機

18:00

閉場

農林水産省

プレゼンテーション 企業情報

人手不足や技術継承等の 食品製造現場の課題解決策をご提案

オムロン株式会社

ロボットメーカー

弊社はロボットのみでなく、その前後工程も含めた自動化で食品製造業のお客様の人手不足への解決策をご提案します。例えば、食品の焼き温度調整（温度制御）～整列搬送（コンベア制御）～良否検査（画像センサ）～トレー・袋詰め（ロボット）等、従来人手に頼らざるを得なかった工程の自動化をご提案、また品質・稼働データの活用によりお客様の生産性向上に貢献します。



- 住所：〒730-0036 広島県広島市中区袋町 5-25 広島袋町ビル 3F
- 問合せ先：第3営業統括部 西日本営業課（広島） 副田 昌平
- 電話番号：082-247-0310
- E-mail：shohei_soeda@omron.co.jp
- U R L：https://www.fa.omron.co.jp/

食品製造 特に麺類での生産性向上の手助けをします

株式会社スズキ麺工

製麺機械メーカー

創業96年、手延べ麺に端を発し、生麺・乾麺・即席麺等多様な麺、及び、製麺設備の製造を行ってきました。現在は生麺、半生麺の製造、及び製麺機械製造部門を合せ持つ総合メーカーです。食品機械製造メーカーには、HACCPをはじめとする衛生的、人手不足に対応する効率的な機械装置が求められています。弊社でお手伝いできることがございましたらお気軽にご連絡下さい。



- 住所：〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 509-15
- 問合せ先：営業部 矢切、横溝
- 電話番号：0865-44-2125
- E-mail：noodle@turuturu.co.jp
- U R L：http://www.turuturu.co.jp

食品産業 生産性向上に向けた活動紹介

株式会社ヒロテック

ロボット Sier

自動車ドア・マフラー量産で培った技術やノウハウを活かしお客様のご要望を聞きながらロボットを活用した自動化の現実化をします。自社のRBシステムを量産活用する事で保守及び更なるシステム改善を使いやすく効率的なシステム提案をする事が出来ます。世界のグループ会社と連携したサービスを提供できます。



- 住所：〒731-5197 広島県広島市佐伯区石内南 5丁目 2番 1号
- 問合せ先：生産技術研究所 国枝 潤
- 電話番号：082-941-7809
- E-mail：kunieda.j@hirotec.co.jp
- U R L：http://www.hirotec.co.jp/robot/

誰でも簡単に扱う事ができる 協働ロボット Sawyer のご紹介

広和機工株式会社

販売代理店

「ロボットをより身近に、使いやすく、実用的に」がコンセプトである協働ロボット SAWYER は産業用ロボットとは異なる選択肢をお客様にご提案致します。力覚センサー・2Dカメラを内蔵しており可搬も可能。最大の長所はロボットの教示が簡単である事です。弊社ブースにおいてダイレクトティーチングを利用したデモンストレーションをさせて頂きます。誰もが使いこなす事が出来るロボットを是非体験してください。



- 住所：〒738-0021 広島県廿日市市木村港北 3-28
- 問合せ先：営業部 ロボットプロジェクトチーム 篠原 道弥
- 電話番号：0829-32-3201
- E-mail：m_shinohara@kowa-nt.co.jp
- U R L：http://kowa-nt.jp/

外食・中食産業の省人化と生産性向上

ニチワ電機株式会社 広島営業所

厨房機器メーカー

業務用電気厨房機器専門メーカー。国産第一号のスチコンを開発した技術により、別々の料理を同時に仕上げる混流生産方法を開発。またモノの移動運搬を自動追従、自動走行するシステムや、光熱費削減の置換換気空調システムも製品化。農水省、厚労省高度化 HACCP 認定は 12 施設、コンサル実績があり、調理工程設計から、一級建築士事務所としてもご提案致します。



- 住所：〒732-0009 広島県広島市東区戸坂千足 1-7-14
- 問合せ先：広島営業所 所長 小島 隆史
- 電話番号：082-229-3391
- E-mail：kojima@nichiwadengi.co.jp
- U R L：http://www.nichiwadengi.co.jp/

自動化を実現する産業用ロボット 「MELFA-FR シリーズ」のご紹介

三菱電機株式会社

ロボットメーカー

三菱電機は「e-F@ctory」をコンセプトに、産業用ロボットの進化した知能化技術で、FA 機器とのシームレスな連携により、さらに簡単に、高度に、柔軟に、次世代のものづくりを実現します。今回は、食品産業に関わる皆様方に、現場の生産性向上・効率化のお役に立てる産業用ロボット MELFA-FR シリーズをご紹介します。



- 住所：〒730-8657 広島県広島市中区中町 7-32
- 問合せ先：FAシステム部 FAソリューション課 坂本 賢太
- 電話番号：082-248-5326
- E-mail：Sakamoto.Kenta@ce.mitsubishielectric.co.jp
- U R L：http://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/

IT 利用による業務のムダ取り ～作業日報をその場で入力。集計転記を排除～

株式会社エムジェイ・エムジー

コンサルティング

生産性向上を実現するためには、物づくり改善と合わせて物づくりを管理する生産管理業務の効率化が必要です。

この効率化を業務改善（必要に応じてシステム利用）指導を PDCA 管理サイクルのスピードアップを中心に活動しています。



- 住所：〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-2-14 日本橋 KN ビル 4F
- 問合せ先：代表取締役 生産管理コンサルタント 清水 秀樹
- 電話番号：090-8104-0177
- E-mail：shimizu-hideki@mjmg.co.jp
- U R L：http://mjmg.co.jp

新方式助力装置 パワフルアーム 空気圧で重量物の搬送をアシスト

CKD 株式会社

空圧機器メーカー

「働く人のために」をコンセプトに、職場での作業負担軽減と作業者の安全確保に貢献する「ヒューマンアシスト製品」です。下からのアクセスを可能にした新しい方式の助力装置で、多軸仕様で折りたたみ格納ができ収納時もコンパクト。用途や場所に合せて最大3軸まで自由な組み合わせが選べ、より高く、より遠くへの重量物搬送が可能になります。女性やシニア活躍職場の実現、多人数作業の改善、生産性向上に貢献します。



- 住所：〒730-0029 広島県広島市中区三川町 2-6
- 問合せ先：広島営業所 所長 瀧口 純
- 電話番号：082-545-5125
- E-mail：j-takiguchi@ckd.co.jp
- U R L：https://www.ckd.co.jp/kiki/jp/

農研機構の食農ノウハウを活用しませんか？

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

研究機関

農研機構は、日本の農業・食品産業の発展に向けた技術開発を担う研究機関です。遠近未来の農業・食品産業における食糧安定供給、地域農畜産物活用等に向けて、研究開発・成果普及に取り組みしています。様々な品種の農畜産物の加工適性、多種多様な食品の特性等、食品加工操作の最適化に不可欠な基礎情報及びノウハウを蓄積していますので、是非お役立てください。



- 住所：〒305-8517 茨城県つくば市観音台 3-1-1
- 問合せ先：食農ビジネス推進センター（ABIC）山本 和貴
- 電話番号：029-838-6993
- E-mail：kazutaka@affrc.go.jp
- U R L：http://www.naro.affrc.go.jp/index.html

食品業界ロボット導入最新事例

株式会社オフィスエフエイ・コム

ロボット Sier

100名以上の技術者が在籍+国内7工場・海外4拠点の自社製作工場を持ち、機械設計から装置製作・電気ソフト制御・上位系ソフトウェアまでのFA-IT一括提案が可能。

創業20年で国内外2000工場以上の自動化を実現し、現場の自動化に必要なあらゆる工程に精通するとともに、ほぼ全メーカーのロボットに対応可能な国内でも貴重な独立系ロボット Sier。



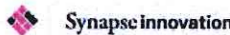
- 住所：〒329-0216 栃木県小山市檜木 293-21
- 問合せ先：General Manager 青木 伸輔
- 電話番号：080-8122-0710
- E-mail：s.aoki@office-fa.com
- U R L：www.office-fa.com/

IoT 対応次世代生産管理システムのご紹介

株式会社シナプスイノベーション

ソフトウェア

食品製造業をはじめとして、プロセス生産に最適な生産管理システムをご紹介します。各種製造装置・ロボット・センサ類から取得したデータを弊社 HiTHub (IoT 基盤) を介して、生産課管理システムや基幹システムと連携出来ます。



HACCP CCP (重要管理点) 管理に有用です。

- 住所：〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2 近鉄堂島ビル 20F
- 問合せ先：AI&IoT 事業戦略室 市川 裕則
- 電話番号：06-6343-1212
- E-mail：contact@synapse-i.jp
- U R L：https://www.synapse-i.jp/

食品業界の自動化事例紹介

株式会社バイナス

ロボット Sier

株式会社バイナスは、個体差、掴みにくいワークをビジョンカメラ、エンドフェクタを駆使して高速で高精度にワークの仕分け、整列の自動化を実現するロボットアプリケーションが得意なシステムインテグレーターです。また最近では農業分野の収穫後の野菜の加工、箱詰めなど新たな市場にロボットの導入を提案しております。



- 住所：〒490-1312 愛知県稲沢市平和町下三宅菱池 917-2
- 問合せ先：営業部 川口
- 電話番号：0567-69-6981
- E-mail：kawaguchi@bynas.com
- U R L：http://bynas.com

プレゼンテーションスケジュール

- 15:40-15:48 オムロン株式会社
- 15:50-15:58 広和機工株式会社
- 16:00-16:08 株式会社スズキ麺工
- 16:10-16:18 株式会社バイナス
- 16:20-16:28 三菱電機株式会社
- 16:30-16:38 ニチワ電機株式会社 広島営業所
- 16:40-16:48 CKD 株式会社
- 16:50-16:58 株式会社オフィスエフエイ・コム
- 17:00-17:08 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
- 17:10-17:18 株式会社エムジェイ・エムジー
- 17:20-17:28 株式会社シナプスイノベーション



第3回食品産業生産性向上
フォーラムの様子